

# 第3学年 音楽科学習指導案

指導者 高石 美佳

1 **題材名** 「木琴の音色を楽しもう」  
**教材** 「ゆかいな木きん」

## 2 題材の目標

- 木琴の音色に関心を持ち、楽器の特徴を生かした奏法で演奏する技能を身に付ける。
- 旋律の特徴や音楽を形づくっている要素を生かして、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。
- 友達と共に表現したり聴き合ったりしながら進んで学習に取り組む。

## 3 題材の評価規準

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍子やリズム、旋律の特徴と曲想の関わりに気付いてリズム打ちをしたり歌ったりしている。</li> <li>・木琴の音色と基本的な奏法との関わりに気付き、より良い音色で演奏する技能を身に付けて演奏している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の特徴や木琴の基本的な奏法などについての知識や技能を生かしながら演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木琴の音色に興味・関心を持ち、基本的な奏法に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・より良い音色と奏法との関わりに関心を持ち、楽曲をより楽しく演奏するために自分なりの考えを持ち、それを伝え合う学習に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>

## 5 題材指導計画（全5間）

次	時	主な学習活動	授業改善のポイント
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2拍子のリズムを感じ取るために、「ゆかいな木きん」の拍に合わせてリズム打ちをする。</li> <li>○歌詞の表す様子を思いうかべながら「ゆかいな木きん」を歌詞唱する。</li> <li>○音楽の仕組み（呼びかけとこたえ）を知り、交互に歌詞唱や階名唱をする。</li> </ul>	 
2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木琴の基本的な奏法について知る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①バチの持ち方 ②たたき方</li> <li>③たたく場所</li> </ul> </li> <li>○「練習用シート」を使ってたたき方の練習をする。</li> </ul>	 
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木琴の基本的な奏法について復習し、小集団で学び合いながら木琴の練習をする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①4人一組 ②3つのポイント</li> </ul> </li> </ul>	 
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小集団で学び合いながら、「ゆかいな木きん」をより楽しく演奏するための工夫を考える。</li> </ul>	 
3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習を生かし、互いに演奏したり聴き合ったりする。</li> <li>○学習したことを振り返る。 (振り返りカード)</li> </ul>	 

1 / 5 時間目

本時の  
目標

・拍子やリズム、旋律の特徴と曲想の関わりに気付いてリズム打ちをしたり歌ったりする。

本時の  
評価

・拍子やリズム、旋律の特徴と曲想の関わりに気付いてリズム打ちをしたり歌ったりしている。

本時のめあて **はくによって歌やリズムを楽しもう**

ゆかいな木きん

五線ふの楽ふ  
横書きの歌し

1

ゆかいな木きん  
 こころが こころが  
 きぐつをはいて  
 まるきの まるきの  
 はしわたり  
 . . . . .  
 . . . . .

たて書きの歌

授業改善のポイント



興味や関心を高める

楽曲に親しむために、リズム打ちや歌詞唱・階名唱・合唱奏など、様々な演奏方法で表現する。



思考を表現に置き換える

動物の様子や気持ちを歌声で表現するために、音楽の要素と関連づけて考えたり工夫したりする。

①つかむ

○本時の学習について知る。  
 ・本時のめあてを知らせる。  
 ・「ゆかいな木きん」の範奏に合わせてリズム打ちしたり、音楽の仕組みの特徴を生かして交互奏等したりしながら2拍子の拍感を感じとらせる。

②考える

○「ゆかいな木きん」を歌詞唱したり曲想を考えたりする。  
 ・楽しい歌詞から動物の様子や気持ち想像させる。  
 ・歌唱の表現につなげるために子供たちの発想や発言を音楽の要素と関連づけて価値づける。  
**音楽の要素**  
 ・音色 ・リズム  
 ・速度 ・旋律 ・強弱

③学び合う

○「ゆかいな木きん」を階名唱しながら音楽の仕組みを学び合う。  
 ・音楽の仕組みの特徴を知らせ、交互唱しながら面白さを感じ取らせる。  
**音楽の仕組みの特徴**  
 ・呼びかけとこたえ  
 ・反復

④まとめる

○「ゆかいな木きん」を歌唱とリズム打ちで演奏する。  
 ・学習のまとめとして全員で楽しくアンサンブルさせ、曲への愛着を深めさせる。

⑤振り返る

○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。  
 ・本時の学習で学んだ内容について、振り返りの感想を言わせる。  
 ・次時の学習についてふれ見通しや期待感をもたせる。

2 / 5 時間目

本時の  
目 標

・木琴の音色に興味・関心をもち、基本的な奏法に気を付けて演奏する学習に進んで取り組む。

本時の  
評 価

・木琴の音色に興味・関心をもち、基本的な奏法に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

本時のめあて **木きんのえんそうにちょうせんしよう①**

木きんの正しいえんそう方ほう

ポイント① バチの持ち方

ポイント② 木きんのたたき方

ポイント③ 木きんのたたく場所

「練習用シート」と使い方のせつ明

木きんの練習をしよう

練習用シート

授業改善のポイント



知識や技能を習得し、活用する

木琴の正しい演奏方法を学び、「練習用シート」を活用しながら奏法を習得するようにする。



互いの考えを比較する

友達同士、客観的な立場で奏法の良さを伝え合ったり、気付いたことを助言し合ったりすることで、より良い奏法の習得につなげる。

①つかむ

②考える

③学び合う

④まとめる

⑤振り返る

○前時の学習を振り返り、本時の学習について知る。  
・「ゆかいな木きん」を歌詞唱、階名唱などしながら曲の気分や音楽の仕組みの特徴について前時の復習をさせる。  
・本時のめあてを知らせる。

○木琴の正しい演奏方法について考える。  
・より良い音で演奏するための奏法のポイントを、様々な例を用いて体感させる。  
**正しい演奏方法**  
①バチの持ち方  
②たたき方  
③たたく場所

○「練習用シート」を使ってたたき方の練習をする。  
・「練習用シート」とマレット（バチ）を使って練習させる。  
・正しい演奏方法を意識するよう、机間巡視をしながら声かけをする。

○「ゆかいな木きん」の旋律に合わせて「練習用シート」をたたく。  
・隣同士のペアになり、友達のたたき方を見合いながら助言させる。  
・たたき方の上手な児童がいた時には、実際に木琴をたたかせて良い見本として紹介する。

○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。  
・本時の学習で学んだ内容について、振り返りの感想を言わせる。  
・次時の学習についてふれ見通しや期待感をもたせる。

3 / 5 時間目

本時の  
目 標

・木琴の音色と基本的な奏法との関わりに気づき、より良い音色で演奏する。

本時の  
評 価

・木琴の音色と基本的な奏法との関わりに気づき、より良い音色で演奏する技能を身に付けて演奏している。

本時のめあて **木きんのえんそうにちょうせんしよう②**

木きんの正しいえんそう方ほう

ポイント① バチの持ち方

ポイント② 木きんのたたき方

ポイント③ 木きんのたたく場所

グループ練習の手じゅん

Aさん 木きん練習

Bさん バチの持ち方を見る

Cさん 木きんのたたき方を見る

Dさん 木きんのたたく場所を見る



Aさんのえんそうについて助言し  
合いたがいにかくにんする

授業改善のポイント



知識や技能を習得し、活用する

実際に木琴をたたきながら、3つのポイントに気をつけて演奏し、正しい演奏方法を習得するようにする。



互いの考えを比較する

正しい演奏方法に着目して友達の演奏を聴くことで、良い演奏を客観的に捉える。更に、友達に対してわかりやすい言葉で助言することで、それを自分の演奏にも生かすようにする。

①つかむ

- 前時の学習を振り返り本時の学習について知る。
- ・木琴の正しい演奏方法について復習し確認させる。
- ・本時のめあてを知らせる。

②考える

- 実際に木琴を使って正しい演奏方法で練習する。
- ・正しい演奏方法や間違った演奏方法など、教師が示す様々なパターンで実際にたたいてみることで音色の違いを体感させる。

③学び合う

- 正しい奏法による音色の違いを聴き取る。
- ・正しい演奏方法に着目させ、項目を分担して見とり聴きとらせる。
- ・小集団で学び合いながら、友達の演奏について自分なりの考えをもたせ、わかりやすい言葉で伝え合わせる。
  - ① 4人一組
  - ② 正しい演奏方法の3つのポイント

④まとめる

- 友達の良い演奏を共有する。
- ・正しい演奏方法でたたけている児童の演奏を聴かせる。
- ・良い点を共有できるように、教師が解説し価値付けをする。

⑤振り返る

- 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。
- ・友達の良い演奏や良い工夫、また友達からのアドバイスなどについて振り返りの感想を発表させ、共有させる。
- ・次時の学習についてふれ見通しや期待感をもたせる。

4 / 5 時間目

本時の  
目 標

・より良い音色と奏法との関わりに関心を持ち、楽曲をより楽しく演奏するために自分なりの考えをもち、それを伝え合う学習に進んで取り組む。

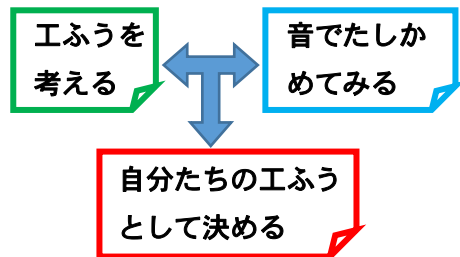
本時の  
評 価

・より良い音色と奏法との関わりに関心を持ち、楽曲をより楽しく演奏するために自分なりの考えをもち、それを伝え合う学習に進んで取り組もうとしている。

本時のめあて

「ゆかいな木きん」を「**もっと**ゆかいな木きん」にしよう

グループ練習の手順



音楽のようそカード

音色

リズム

速度

せんりつ

強弱

授業改善のポイント



思考を表現に置き換える

表したい音を音楽として表現するために音楽の要素（音色、強弱、速度など）に着目して工夫させる。



思考して問い続ける

考えたことを楽譜に書き留めながら繰り返し音を出して試すことで、自分や友達の考えをグループの工夫として表現につなげるようにする。

①つかむ

○前時の学習を振り返り、本時の学習について知る。  
・前時までの学習で学んだ木琴の正しい演奏方法について確認させる。  
・思いや意図をもった表現を工夫するために必要な音楽の要素に関わるヒントを確認させる。

②考える

○「ゆかいな木きん」をより楽しく演奏するための工夫を考える。  
・木琴の正しい演奏方法に気を付けながら、音楽の要素を使った工夫になるように、それぞれのグループに声かけをする。

③学び合う

○実際に演奏で試しながら、自分たちの考えた工夫を生かして「**もっと**ゆかいな木きん」をつくる。  
・グループで話し合ったことや演奏の工夫などを記入できる学習カードを用意し活用させる。

④まとめる

○友達（他グループ）の良い工夫を知る。  
・音楽の要素を意識して面白い工夫をしているグループを取り上げ、曲の一部を演奏紹介する。

⑤振り返る

○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。  
・活動の中で参考になった友達の発言や演奏について紹介する。  
・次時の学習についてふれ見通しや期待感をもたせる。

5 / 5 時間目

本時の  
目標

・曲の特徴や木琴の基本的な奏法などについての知識や技能を生かしながら、思いや意図をもって演奏の仕方を工夫している。

本時の  
評価

・曲の特徴や木琴の基本的な奏法などについての知識や技能を生かしながら演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図を持っている。

本時のめあて

「もっとゆかいな木きん」の発表会をしよう

発表会の手じゆん

- 1 エふうしたところをせつ明する
- 2 「もっとゆかいな木きん」の発表
- 3 えんそうの感想発表（きいた人）
  - ・エふう点について
  - ・えんそうの内ようについて など

音楽のようそカード

音色

リズム

速度

せんりつ

強弱

授業改善のポイント



互いの考えを比較する

本題材で学んだ「木琴の基本的な奏法」や「音楽の要素」を意識した音楽づくりをすることで、友達の演奏の工夫点や面白さを実感し、比較することができるようにする。



振り返って次につなげる

題材の振り返りを通して自分の学習の成果を確認し、今後の学習に生かすことができるようにする。

①つかむ

- 前時の学習を振り返り、本時の学習について知る。
- ・本時は題材のまとめの学習として、「もっとゆかいな木きん」の発表会をすることを知らせ学習への期待感をもたせる。

②考える

- 発表会の為のグループ練習をする。
- ・前時に考えた演奏の工夫を学習カードで確認させ、発表前の練習をさせる。

③学び合う

- 「もっとゆかいな木きん」の発表会をする。
- ・グループで考えた工夫を発表してから演奏させる。
- ・音色、リズム、速度、旋律、強弱などに着目させ、友達の演奏の工夫点と自分の演奏とを比較して聴くよう声かけをする。

④まとめる

- 友達の演奏の工夫点や面白さを共有する。
- ・発表後は工夫点の良さや音楽の要素に着目できている点など、気付いたことを発表させる。
- ・教師の言葉でも評価し、知識として習得・定着できるようにする。

⑤振り返る

- 学習（題材）の振り返りをする。
- ・題材を通して学んだこと感じたこと、上手くできたこと、できなかったことなどを学習カードにまとめさせる。
- ・感想を発言させ、互いの思いを共有させる。